

令和5年度 第1回 東京都移動性向上委員会 議事概要

日時：令和5年8月25日（金） 10:00～12:00

場所：国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所 15階第2会議室（対面・WEB）

○議事内容

- （1）委員会の開催経緯と論点
- （2）最新の交通状況による分析
- （3）主要渋滞箇所の進捗状況及び見直し
- （4）最新の取り組みと整備効果
- （5）渋滞対策検討箇所
- （6）TDM施策の検討

○議事要旨

- （1）委員会の開催経緯と論点
 - ・これまでの委員会の開催経緯と今回委員会の論点について報告した。
- （2）最新の交通状況による分析
 - ・最新のプローブデータによる東京都内の交通状況について報告した。
 - ・H31.1からR4.12末の旅行速度及び交通量の推移を基に、コロナ禍から現在までの都内の交通状況変化について報告した。
 - ・交通状況のモニタリングと併せて、前回委員会から今回委員会までの間に対策完了した箇所や具体の対策内容を整理し、対策による交通への影響を確認した方がよいとの意見があった。
- （3）主要渋滞箇所の進捗状況及び見直し
 - ・現時点で渋滞対策が立案されていない主要渋滞箇所について、事故危険区間に指定されている事業の実施性の高い箇所を中心に、交通安全対策事業と併せてピンポイント渋滞対策の実施も検討することを確認した。
 - ・今年度のモニタリング結果において、対策実施後2年間継続して効果が顕われている2箇所（富士見ヶ丘小学校交差点・乞田新大橋交差点）については、主要渋滞箇所から解除することが了承された。
 - ・今年度のモニタリング結果において、対策未実施または実施中であるが、直近

5年間継続してモニタリング指標に該当していない4箇所（下高井戸駅入口交差点・（仮称）桜新町交番前南交差点・若林陸橋交差点・谷原交差点）については、関係機関へのヒアリング及び交通状況分析を実施し、次回委員会において解除の可否を審議することとした。

（４）最新の取り組みと整備効果

- ・各道路管理者より、移動性向上に向けた取り組み及び道路整備効果の事例が報告された。

（５）渋滞対策検討箇所

- ・直轄国道における渋滞対策検討箇所について、ピンポイント対策の検討状況を報告した。

（６）TDM 施策の検討

- ・TDM 施策検討候補箇所（案）について審議した。
- ・TDM の施策メニューについては、時間帯の変更に限定せず、経路の変更や手段の変更なども含めて複数の施策メニューを組合せて実施することで、はじめて効果が発現するのではないかとの意見があった。

以上